

第2回 小出地区小和田地区意見交換会 議事録

平成31年4月12日

作成 中川

日時 平成31年4月11日(木) 14:00~15:40 市民自治推進課 会議室
出席者 小出地区：永澤まち協副会長、齋藤、宇尾野
小和田地区：雫石部会長、新倉まち協会長、市野、中川
行政(市)：市民自治推進課 窪田副主査 姫野主任
産業振興課 嶽石主査
観光協会 石川

冒頭 市民自治推進課の富田課長より、2地区連携の活動についての奨励と今後の推進を望む旨のご挨拶をいただきました。

議事

1. 現在までの状況説明および開催までの計画(雫石部会長)

2020年1月7日開催に向けての項目別の今後の進行計画が示された(資料参照)。

2. 相州小出 七福神巡り 打ち合わせ資料説明(市野委員)及び検討

自転車および徒歩での七福神めぐりのコースと、案内標識設置箇所案、案内標識案が示された(資料参照)。

<雫石部会長>

設置位置3と4の間で曲がってしまうと迷ってしまう。追加として地元のフルーツ狩りのできる農園など、地域の案内も置いても良いのではないかと。

<永澤副会長>

①1月に行った徒歩での七福神めぐりルートはあの日だけのものであり、一般的には自転車ルートと徒歩ルー

トは一致している。一本化できると考える。

②先日打ち合わせではルートのスタートは里山公園という話だったと記憶している。パーク長に打診済みで

あり、掲示板(案内地図)についてもテンポラリー形式であればいつでも問題なく掲示可能、基礎付きのもの

であれば県に問い合わせが必要との回答を得ている。順路は里山公園スタートに変更してほしい。

③案内板は他事業の企画と統一することも考えられる。公道設置になると警察が絡み難くなるので、金額

も含め民地に置かせてもらえるものも考え合わせても良いのではないかと。

④コンセプトとして良い。市の行事の1つとして格上げしてもらっても良いのではないかと。

<観光協会 石川さん>

赴任した2012年当時は観光協会としては七福神めぐりを案内していなかったが、2016年に当時のパンフの増刷を依頼され、原作者との交渉を重ね原稿のパンフの発行に至っている。

<新倉会長>

市外からの来訪者に向けての案内という意味合いが強かったのではと思われるが、小和田地区のコンセプトとしては、住民が茅ヶ崎市の良さを再確認できるものかと考えている。小出地区に残されている茅ヶ崎の原風景や環境資源は魅力的で、地区の垣根を越えてアピールに協力していくものに足ると考える。市や関連団体もトータル的な視点でとらえ、高齢者向けにコミュニティバスを使うなど柔軟で積極的な協力をしていただきたい。

<出席者からの意見>

- ・経費の捻出計画はできているのか。2地区合同での事業申請は可能か。
- ・タオル（手ぬぐい）は著作権が得られれば安価に製作可能。年度を入れずに数年分作成すれば現在の半額で販売できるのではないか。
- ・今年度のパークセンターの掲示板（地図）は、資料のコースを拡大しパウチして使用してはどうか。
- ・建設中の文化交流館への案内板の設置は2021年と遅く、統一はするのは難しい。
- ・案内板（道しるべ）は暫定的に投票所案内のような形式のものでも良いのではないか。
- ・案内板（道しるべ）にイラストをつけるなど、独自性を持たせても楽しいのではないか。
- ・期間限定で七福神の焼き印入りの和菓子やパンの販売があると盛り上がるのではないか。
- ・他地区まち協の出店協力を得られるか。

<まとめ>

- ・掲示板（案内地図）は観光協会からのデータを取り込み作成する。
- ・チラシはスタート地点を里山公園に変更して、徒歩と自転車ルートを一本化し作成する。
- ・道しるべについてはプレート部分、ポール部分それぞれ過去の業者を参考にあらかじめの見積もりを取る。
- ・旗は40本作製で見積もりを出す（小出）。
- ・タオル（手ぬぐい）は観光協会のイラストを取り込み、デザインを追加し見積もりを出す（小和田）。
- ・1月7日の運営に関しては、今後、検討していく。
- ・ルート近辺の自治会館のトイレ使用の確認。

3. 次回の打ち合わせ

- ・5月9日（木） 14時～ 市民自治推進課 会議室

以上